

きずなの郷

第39号
2012 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成24年8月1日

目次

やすらぎ荘の 老朽改築	1
事業報告	2
決算報告	5
合同記事・お花見会	6
わかふじ寮	7
やすらぎ荘・ 新得やすらぎ荘	8
屈足わかふじ園	10
ひまわり荘	11
新採用職員紹介	12
地域貢献活動・ お知らせ	13
ご寄付・ご寄贈	14
編集後記	14

やすらぎ荘の老朽改築

完成は平成二六年九月予定

厚生協会中長期計画の「聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘」老朽改築整備事業については、この度新得町のご理解を得て十勝総合振興局に整備計画書を提出することができました。工事の概要としては、今年度の実設計、平成25年・26年で建築工事を行い、平成26年9月竣工予定で新施設の特徴は次のように考えています。

- ・全室個室となります。
- ・快適な日々を送ることが出来ます。
- ・改築する場所は現やすらぎ荘南側の隣接地を考えています。
- ・総事業費は七億八千万円程度を見込んでおり、厚生協会の負担は、約三億円になります。
- ・デイサービスセンターも新しくなります。



利用者の皆様には、今しばらくご不便をおかけしますが、もししばらくお待ち下さい。

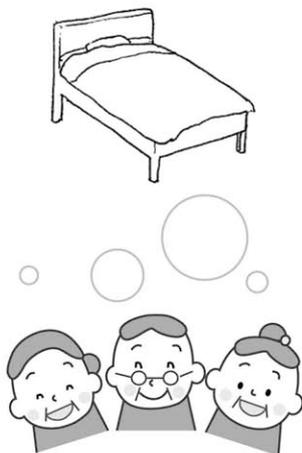
特別養護老人ホーム

新得やすらぎ荘の

ベッドを増やします

完成は平成二八年三月予定

現在の五〇床に、二〇床増やします。今、新得やすらぎ荘の入所をお待ちいただいております皆様が大勢おられます。少しでも早くご期待に沿うよう増床を計画しておりましたが、この程、町の方針が示されました。事業に要する経費は、道の補助金以外は町が全額（備品は除く）負担していただくことになりました。工事は、平成二七年に行います。もう少しお待ち下さい。



改築・増床の事業については、道と町の補助金が確定した場合であります。一日も早く完成するよう頑張っています。

平成23年度 事業 報告

■法人本部

東日本大震災の復興が徐々に進む中、本法人として義捐金及び生活関連物資の提供を行うとともに、日本障害フォーラムからの要請に基づき被災地への職員派遣を行った。

野田政権下、税と社会保障の一体改革の名のもとで消費増税が議論されている中、障害福祉の分野では障害者制度改革推進会議でまとめた「障害者総合支援法案」が閣議決定され、国会で審議中である。

高齢者福祉の分野でも介護保険部会で、第5期介護保険事業計画に向けた制度の見直しにより、法改正及び報酬単価が改正された。

このような状況の中、必要な情報収集および対応の検討を行うとともに本法人として23年度中に次の事業を実施した。

1. ひまわり荘の移転改築工事の完了（8月18日竣工、10月1日引越）
 2. 共生型共同住宅さくら2及びグループホームさくら3の開所
 3. 社会保険料適正化の実施
 4. 60歳以降の継続雇用制度見直しの実施
 5. 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘老朽改築の検討と計画化
 6. 地域貢献と社会貢献活動の推進
 7. 理事会の開催（7回）、建設委員会の開催（8回）、監事の監査（4回）、評議員会の開催（3回）、役員研修（4回）、顧問契約（松浦弁護士、富士道公認会計士）
- 本部各専門部会（管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会）

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、モニタリングを定期的実施し、支援内容の見直しや確認を行いながら実施した。

障害者の地域生活については、高齢者と障害者が地域において共に暮らせる共生型ホームさくらⅡが9月、障害者グループホームさくらⅢが2月にそれぞれ完成し、計10名の利用者が入所施設から地域生活へ移行した。これに伴いわかふじ寮の施設入所支援の定員を34名から24名に減員した。

【1】介護部門

・個別支援計画に沿って支援を実施しており、変更があった場合などの見直しを行いながら進めた。

【2】就労移行部門

- ・就労支援ネットワーク会議等に参加し、連携及び地域でのネットワーク作りについて情報収集を行なった。
- ・就労プログラムに基づき一般就労に向けた支援を行った。
- ・地域生活移行・地域生活技能への支援を行った。

【3】医療部門

- ・7月胃がん、8月・3月に子宮がん、乳がん検診を受診した。
- ・11月にインフルエンザ予防接種を実施した。流行時期には早めに声かけをし、手洗い、うがいの徹底を行った。

【4】食生活部門

・温食・冷食の実施については、温蔵庫を使用した。

【5】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

・毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。

【6】授産事業

・売上確保や利益向上を目標に事業振興に取り組み、目標金額は達成できた。また、障害者自立支援基盤整備事業を活用しペットフード事業の機器整備やパン工房の店舗を再開した。一般就労については厳しい状態であり、一般就労に繋げる事ができなかった。

■さくら

利用者への支援の中心となる個別支援については、個別支援計画に基づき、地域生活が安定して行っていくことができる様に、地域で生活を送る上でのルールを基本とし、個々の生活だけでなく、周囲のことも考慮しながらお互いに協力することを中心に支援を行った。

食生活については家庭的でかつ偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好について日々の献立に反映できる様に対応した。

【1】地域生活

・個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】食生活

・入所施設での献立を参考にしながら、予算の範囲内で家庭的な食事を提供した。

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

施設は、老人福祉法及び関係法令及び通知の改正に基づき、利用者の自立支援の為のソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもてる健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

特定施設入居者生活介護型への移行後、法令を遵守し、より一層良いサービスが提供できるように努めた。また、虐待防止の徹底や事故防止、認知症の対応、新型の感染症の防止等、時代に即したサービスの提供に努めた。

さらに道内に生活する高齢聴覚障害者が地域の中でより良い環境で生活するための一助として、介護保険や認知症についての啓蒙活動を行った。

前年度より引き続き清水赤十字病院にて胃カメラによる検診を定期的に受診した。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

個人の尊厳を重視したサービスの提供を行うために、日々の職員の言葉遣いや対応についてサービス向上委員会を中心に検討を重ね努力した。

介護面では、看取り対応の取り組みについては職員の意識の向上やオイル清拭の習得に努めたが、日中のオムツ外しは、十分な取り組みができなかった。次年度はオムツ外しを行うために介護基礎力をつけることから取り組んでいく予定である。短期入所については、ベッドの空き状況を確認しながら、緊急入所の受け入れを実施し自宅生活支援に努めてきた。平成24年度の介護報酬の改定については、研修会等に参加し改定内容の把握を行った。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

【訪問介護サービス】

利用者の望む在宅生活が出来るようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となる様努力してきた。

また、自立支援・介護予防の視点に立ち、日々の介護サービスを行う事が出来た。今年度は特に利用者本位の視点を重視し認知症の方の対応についても合わせて研修を行う事で、各ヘルパーのスキルアップを行ってきたが、具体的なサービス向上の結果としてはあらわれていない状態である。

【障害福祉サービス】

自立支援の視点に立ち、利用者本位とその意味を研修等で再度学ぶ機会を増やした。在宅における障害者及び家族への気配りも行うよう努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

介護保険制度は平成12年のスタート以来、在宅サービスを中心に、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた。居宅介護支援でも専門的で質の高い介護サービスの提供や、医療と介護の連携を期待されている。

当事業所においても介護保険法令の趣旨に従い、利用者と家族の意向に沿って、専門職として総合的なケアマネジメントを基にプランの作成を行ない、各サービス提供事業所や行政等他職種との連携、調整を図る事で、適切な介護サービスや福祉サービスの利用ができるよう努めた。

また制度情報の把握やケアマネジャーの資質向上のため研鑽し、利用者や家族に対し総合的支援を続けてきた。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が、可能な限りその自宅において自立した日常生活を営む事が出来るよう、入浴および食事の提供、生活等に関する相談や助言、健康状態の確認やその他の必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを提供してきた。利用者のニーズを聞き出し選択サービスの向上に努め、実施した。

利用者個々の時間に合わせた時間外サービスの充実を図り、家族の介護負担軽減や精神的負担の軽減を図る事に努めた。

■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

慣れ親しんだ地域で、生きがいをもって生活していただけるよう、在宅での日常生活支援を重視し、転倒予防、認知症や廃用性症候群等リハビリテーションを目的とし、理学療法士、看護職員、介護職員、生活相談員が共同して、個人の状態、希望に添ったサービス提供ができるよう、リハビリの計画・実施・評価を行った。

又は、希望に応じて公文学習療法を行った。

■屈足わかふじ園

平成23年度は、障害者自立支援法の廃止を含めた障害者施策の見直しや報酬改正に向けた検討、又、東日本大震災による夏場の節電対策などあわただしく行なわれた1年だった。

利用者に対しては個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

生活面では余暇活動の見直しを図り、利用者の意見を聞き、外出行事等の活動を多く取り入れ、日常生活に関わる日課、外出、行事、通院、服薬等の情報は分りやすく提供した。

環境整備では夏場の猛暑対策として、居住棟のデイルームにエアコンを設備し快適な生活環境を整備した。又、シャワー浴しか対応できていなかった利用者が快適に入浴できるよう特殊排泄室を改修し特殊入浴装置を整備した。

その他、東日本大震災の被災地に職員3名の災害派遣を行った。

【1】 介護部門

- ・業務改善委員会を中心に介護に関するマニュアルの見直しを行うと共に各種研修会に参加した職員から職員会議などで伝達研修を行い介護技術の向上に努めた。
- ・事故防止委員会を中心に職員間の連携を密にして事故防止に努め、ヒヤリ・ハット報告数の合計135件あり、前年と比較し35件減少した。

【2】 医療部門

- ・利用者の心身の状態把握に努め異常時には速やかに対処した。回診時には医師へ適切な情報提供を行った。
- ・感染症対策委員会を中心に、感染予防マニュアルに基づき、徹底した感染予防を行う事で、利用者は1名もインフルエンザを発症しなかった。

【3】 給食部門

- ・嗜好調査を行い、給食運営会議に利用者の代表3名が交代で出席して頂き、給食の提供について聞き取りを行い確認した。また、利用者懇談会で給食に関する意見や要望を聞き取り献立に反映させる様にした。

- ・利用者の意見も聞きながら、行事食の献立を立てた。また、行事の時には、テーブルの配置を換えたり飾り付けをしたり、普段と違う雰囲気作りができるように工夫した。
- ・定期的にジンギスカンや鍋などテーブルを囲み、温かい食事ができる行事を取り入れた。

【4】機能訓練部門

- ・新規入所者をはじめ、利用者個別の訓練計画を立て、個別支援計画書に反映させた形で進めることができた。しかし、昨年同様、日常生活動作の拡大は図れなかった。
- ・月2回、北斗病院の理学療法士と介護スタッフ・柔道整復師による身体状況確認と訓練メニューの評価を行いながら進めることができた。又、日常の機能訓練を受ける利用者が限られた方のみでの対応になってしまった。

【5】生活支援部門

- ・個々の個別支援計画の策定と6か月ごとの支援計画のモニタリングを実施し支援内容の見直しなど、利用者のニーズに沿った生活支援の実現に向けたサービスの提供ができた。
- ・入所前面接の際に説明を十分に行い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行った。また、各市町村の福祉担当者や他の医療機関からの相談に対して適切な対応をした。

【6】防災関係

- ・避難訓練を2回実施し、その内1回は夜間を想定した訓練を行った。
- ・ビデオを利用した防災学習を行った。

【7】研修関係

- ・法人・施設内外の研修会には可能な限り積極的に参加した。研修後は報告書を提出し、職員会議などで研修報告を行い、参加しない職員にも伝達研修を行った。
- ・施設内研修は新規採用職員の研修を含み5回開催し、職員会議では研修報告など伝達研修を8回実施した。

【8】事務管理部門

- ・コスト削減の意識は職員への伝達により、若干ではあるが浸透した。節電に関しては施設内の電球や蛍光管を外し、節電を行い法人目標の10%節電は概ね達成した。又、事務室に節電行動計画を掲示し節電に対する意識づけを周知した。

■養護老人ホーム ひまわり荘

運営にあたっては、運営規定に基づき、運営方針や支援目標、支援方針を樹立し、高齢者福祉の原点を怠ることなく探求し、老人福祉法、介護保険法を遵守し、市町村などの関係機関や医療機関との連携を密に行い、利用者の自立支援と尊厳を守りながら、「安心と信頼」など、利用者主体の介護サービスの提供に努めた。

特定施設入居者生活介護利用者は、状態にあわせた介護サービスが利用できるよう法令を遵守しより良い介護サービスが提供できるよう努めた。利用者のサービス向上、転倒などの事故防止に努め、利用者を平等に対応し、差別、暴言、高圧的な態度を慎み、約束を守り、挨拶の徹底を図った。地域との関わりを多くし、各関係機関との連携を密にし、利用者対応、サービスの質向上に努力した。また、平成23年10月1日、家族、各施設職員に協力を得て新施設への引越を行った。

【1】介護部門

- ・毎月ケース会議、訪問特定会議を行い、利用者個々への処遇の見直しを行った。特定への移行を検討し4名特定の移行となった。今年度新たに要介護認定申請手続きを1名行った。
- ・毎月、訪問特定会議、サービス担当者会議を開催し、本人のニーズを把握、介護サービス計画の作成を行い、訪問介護事業所との連携に努めた。
- ・居室内など、本人の状態に合わせた対応ができるよう、できる範囲検討を行い、対応を行った。
- ・面会時は椅子を用意し、人数によっては別室へ案内するなど面会しやすい雰囲気づくりに努めた。
- ・毎朝ラジオ体操を行った。夕食前に嚥下体操を行い、機能回復や健康保持に努めた。嚥下体操は誰もが気軽に参加が出来るよう、定期的に見直しを行った。

【2】看護部門

- ・入退院時、病状の把握を行い、迅速に家族への連絡を行った。また家族と連携を取り状況の共有を行った。
- ・糖尿病、感染症（インフルエンザ、急性胃腸炎）に関する説明をひまわり会にて行った。必要に応じて個別に説明を行った。

【3】給食部門

- ・月1回実施している。誕生月に利用者の嗜好を聞き取り、誕生会の献立に反映した。
- ・食事委員会のアンケートも反映させ、年齢と健康に配慮し、出来るだけ希望に添えるようにした。

【4】改築移転に向けて

- ・引越の予定、進捗状況などひまわり通信で知らせた。
- ・9月7日、11日家族、利用者の見学会を実施し9人の参加があった。
- ・9月17日、18日町民見学会を実施し81名の参加があった。
- ・9月21日落成式、試泊会を行った。
- ・10月1日開所記念夕食会を行った。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

特定施設入居者生活介護事業所の利用者の希望、要介護度や身体上の状態、生活環境に応じて、身体介護、生活支援を行った。月1回訪問特定会議、サービス担当者会議を行い、サービス内容の見直しや検討を行い日常生活の支援に努めた。

平成23年度決算報告

平成24年3月31日

財 産 目 録

(単位：円)

資産の部		金額
科 目	摘 要	
流動資産		768,266,541
固定資産		4,490,744,984
資産合計		5,259,011,525
負債の部		金額
科 目	摘 要	
流動負債		118,287,999
固定負債		321,974,893
負債合計		440,262,892
差引正味資産		4,818,748,633

貸 借 対 照 表

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	768,266,541	流動負債	118,287,999
固定資産	4,490,744,984	固定負債	321,974,893
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	2,731,647,790
		その他の積立金	555,401,343
		次期繰越活動収支差額	1,517,199,500
資産合計	5,259,011,525	負債純資産合計	5,259,011,525

事業活動収支計算書

科 目	金額
介護保険収入	462,685,660
利用料収入	84,883,103
措置費収入	263,186,193
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	599,794,385
補助事業等収入	26,469,903
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	20,167,969
雑収入	11,530,873
借入金元金償還補助金収入	18,000,000
借入金利息補助金収入	1,996,758
経理区分間繰入金収入	1,185,577,259
受取利息配当金収入	268,269
授産事業収入	187,290,505
施設整備等補助金収入	617,913,800
補助金等特別積立金取崩額	66,498,779
収入合計	3,546,263,456
人件費支出	808,352,868
事務費支出	214,122,711
事業費支出	252,352,424
借入金利息支出	3,567,755
経理区分間繰入金支出	1,185,577,259
授産事業支出	171,377,820
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	1,020,661,755
引当金繰入	15,491,440
減価償却費	97,056,503
固定資産処分損	0
支出合計	3,768,560,535
当期活動収支差額	△ 222,297,079
前期繰越活動収支差額	1,797,024,059
その他の積立金取崩額	25,572,520
その他の積立金積立額	83,100,000
次期繰越活動収支差額	1,517,199,500

資金収支計算書

科 目	金額
介護保険収入	462,685,660
利用料収入	84,883,103
措置費収入	263,186,193
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	599,794,385
補助事業等収入	26,469,903
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	20,167,969
雑収入	11,530,873
借入金元金償還補助金収入	18,000,000
借入金利息補助金収入	1,996,758
経理区分間繰入金収入	1,185,577,259
受取利息配当金収入	268,269
授産事業収入	187,290,505
施設整備等補助金収入	617,913,800
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	25,572,520
収入合計	3,505,337,197
人件費支出	808,352,868
事務費支出	229,614,151
事業費支出	252,352,424
借入金利息支出	3,567,755
経理区分間繰入金支出	1,185,577,259
授産事業支出	169,763,478
流動資産評価減による資金減少額	0
積立預金積立支出	83,100,000
借入金元金償還金支出	26,240,000
固定資産取得支出	1,102,382,493
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	3,860,950,428
当期資金収支差額	△ 355,613,231
前期末支払資金残高	1,005,591,773
当期末支払資金残高	649,978,542

わかふじ寮



感謝を込めて—
ご家族の皆さんへ、母の日のプレゼント

新得やすらぎ荘

5月12日、厚生協会各施設にてお花見会が行われました。

「いこいの広場」の桜の下で合同お花見会の予定でしたが、昨年に引続き今年も低温と悪天候のため、各施設内で手作りの桜を眺めながらジンギスカンと毎年お楽しみの「行者にんにく」で春の味を楽しみました。



お肉が足りませ〜ん！
おかわりくださあ〜い!!

屈足わかふじ園



2年連続あいにくの雨で、食堂開催です。



満開の桜の前でパシャリ☆



美味しいよ〜！あなたもどう？



ひまわり荘



事前に探っていた行者にんにくも一緒にいただきます！



天気が悪くたって関係ありません。



職員より焼き加減が絶妙でした。



施設研修旅行 ～ご馳走三味食べ歩き～



6月に2年ぶりの施設研修旅行が行われました。スタートは6月6日の第1班*飛騨高山コース3日間。続いて第2班*神戸姫路コース3日間。第3班*札幌定山溪コース2日間。久しぶりの旅行とあって、参加した利用者さんたちは、出かけた先々の美味しいものを食べ、郷土に触れ、日常にはない時間を楽しみました。第2班で台風の影響が心配されましたが、ほぼ予定通りに観光もでき、大きなハプニングもなくお土産をたくさん抱えて皆さん無事帰寮しました。翌日はお土産話やお土産配りに忙しかったようです。

第2班 神戸姫路コース



白鶴酒造で「お土産におひとつ…」



「明石焼き」みんな上手に出来たかな？



神戸牛の鉄板焼きに大満足



チョコレートファクトリーにて

第1班 飛騨高山コース



飛騨の里の街並みを散策



郡上踊りを体験

第3班 札幌コース



市場の美味しい海鮮丼にピース

自治会パークゴルフ大会 ～優秀賞品は誰の手に?!～



6月16日、わかふじ寮自治会主催のパークゴルフ大会がサホロ河川敷PG場で開催されました。晴天とはなりませんでしたが、クラブがあるほどのパークゴルフ好きな利用者さんたちは元気いっぱい上位入賞を目指し、張り切ったの参加です。重度利用者さんたちも、職員がサポートをしながらホールインワン！を狙います。

さあ、ゲームの後は施設に戻って表彰式&昼食会です。



パークゴルフ大好き♪



お楽しみの昼食はジンギスカン

グループごとに表彰と賞品授与が行われ、名前を呼ばれた利用者さんたちは、恥ずかしそうに、でも誇らしげに賞品を受け取り嬉しそうでした。入賞した皆さんも頑張ったけどもう一歩だった皆さんも、美味しいジンギスカン食べて、楽しいひと時を過ごされたようです。



三人娘もがんばりました！

「花より団子?!」 ～新得山桜見学へ～

やすらぎ荘 やすらぎ荘

5月17日晴天で程よい春風が吹いている中、桜を見に出かけました。遠足気分で菓子とお茶を準備し、利用者12名と車で新得神社へ行きました。桜は満開のピークを過ぎていましたが、利用者はピンク色の桜を見つけた時「きれい!!」と自分の歳を忘れはしゃいでいました。お賽銭箱まで数段登り祈る方、絵馬に描かれた内容を読む方、桜よりも菓子を食べる方、新得神社から見下ろす街を眺める方、それぞれ楽しんでいました。



天気にも恵まれ最高↑↑



桜よりもきれいでしょ☆



桜の木下で…

日帰り旅行 ～それぞれ楽しみました♪～

今回は皆さんの希望に合わせて、新得町ベアマウンテン見学、池田ワイン城見学、土幌温泉、幕別温泉へと5班に分けて日帰り旅行を計画しました。

一番人気はベアマウンテン。2班に分けて見学してきました。今まで近場でありながら見に行く機会が無く、今回初めて大きなクマを間近で見た方も多くウォッチングバスの車内はクマの迫力に歓声を上げる方や、クマの大きさにびっくりしたのか「怖い」としっかり見ることのできない方、目の前のクマに向かって手を挙げて挨拶する方など、皆さん思い思いの方法で見学してきました。

ワイン城組は以前に見学に行かれた方もいましたが、新しく工場を見学できるようになり、これまでとは違う雰囲気を楽しむことが出来ました。

温泉組は、ゆっくりと温泉に浸かり、疲れが溜まった体を癒して「また明日からも元気ががんばるぞ〜!」と気持ちをリフレッシュしてきました。



クマの迫力にビックリ!



みんなで記念写真をパシャリ♪

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘

屈足ディスコダンス

4月26日、「屈足ディスコダンスクラブ」の皆さんが踊りを披露して下さいました。この会は、日頃やすらぎ荘の「おどりクラブ」をご指導いただいている井上玲子先生が中心となって活動されているサークルで、そのご縁もあって来荘されました。当日は、井上先生をはじめ17名の皆さんが華やかな飾りをつけた衣装に身を包み「桜音頭」や「東京五輪音頭」「八木節」等全12曲を軽やかに踊られていました。

最後は「北海盆踊り」を利用者の皆さんも一緒に輪の中に入り踊って、交流を図りました。また、クラブの皆さんから利用者さんへのお菓子も頂戴し、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

また是非、来年もいらして頂きますようお願い申し上げます。



ダンスの後は、交流会も楽しみました。



素敵な踊りでした☆



これであっているのかなあ??



屈足ディスコダンスの会のみなさんです。



見ている皆さんも真剣です!



ディスコダンスにチャレンジ♪

長寿の祝い

～皆さんこれからも元気でいてください～

4～5月生まれの利用者様を対象に5月25日に長寿の祝い夕食会を行いました。

喜寿 只野静雄さん
 卒寿 花房きみ江さん(特養)
 傘寿 沖本光枝さん 平田一美さん
 喜寿 石尾彦司さん 古希 林春代さん

合わせて6名の方のお祝いをしました。

夕食会は、施設長の挨拶から始まり、お祝いの方に赤いちゃんちゃんこを着て頂き、施設長から記念品をお渡ししました。そして、温かな雰囲気でご家族の方と一緒にお食事をされたり、お話をしながら楽しいひと時を過ごしました。

これからも利用者の皆様とこのような楽しい会を迎えられるように、利用者皆様には健康で長生きしていただきたいと願っています。



ご家族との一枚。ハイ、チーズ☆



いっぱい食べるぞおー！

日帰りサービス
やすらぎ荘

ソフトクリームを食べに

～「そばの館」へ楽しく外出してきました～

6月6日(水)にソフトクリームを食べに利用者さん、職員含め計18名「そばの館」へ行ってきました。その日は雨・雷注意報が出ていましたが、日ごろの皆様の行いが良かったのか、雨も降らず無事到着。店内でベンチに1列に座り、好みのソフト(ミルク・そば味)をほおばりました。「そばの味がほんのりするね」「おいしいね。又みんなで来たいねえ」と満面の笑顔。売店もあり、お菓子やだし汁等を買われた利用者さんも「なかなか来られないから良かったよ～」とお褒めの言葉を頂きました。

最後に大勢で突然何ったにも関わらず「そばの館」従業員の方には大変良くして頂きました。

ありがとうございました。



「そばの味する?」



私たち、ソフトクリームのように
甘いですよ～

やすらぎ荘 新得やすらぎ荘

おやつの日

～食べて、話して、楽しいひと時～

6月22日に「おやつの日」を計画しました。

メニューは、初夏らしく「桃とヨーグルトのスムージー風」というものを作りました。

当日は皆さんホールにたくさん集まって頂き、和やかな雰囲気の中召し上がられていました。

やわらかく冷たい食感のデザートは「美味しい」と皆さんに言っていただき好評でした。デザートを食べながら楽しそうにお話される姿も見られ、とても良い時間が過ごせたと思います。



何のおやつかな～?



お茶を飲みながら美味しく頂きました。



うん、うまい♪

清水デイサービス
センター

「みんなで夕食」

～一番人気は冷やし中華!?カレー!?～

6月18日に清水デイサービスセンターやすらぎ荘の利用者さんと清水町内にある、いちまる店内「レストランひまわり」に食事に行きました。

メニューがたくさんあり、どれにしようかなと悩む声が聞かれました。この日は気温が高かったのですが、みなさんが注文した中で一番多かったのが、なんとカレーライス!!みなさんから「おいしい」の聲が飛び交い、「またみんなで食べに来たいね」という声が多く聞かれました。

またみなさんで食べに行きたいですね。



おいしいです♪

One Man Digital Orchestra 佐藤春美オールスターズ演奏会 ～1人で10人分の大演奏会～

6月18日に陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者、佐藤春美さんの演奏会を行いました。佐藤さんは本業以外にも、休みの日に様々な福祉施設などで慰問演奏をされており、この度ご縁があり演奏会を開くことになりました。1人でサクソやエレキギター、ウィンドシンセサイザーなど、多彩に楽器を奏で、音響機器から流れるメロディーは大迫力でありました。また利用者の世代にあわせ、演歌からアニメの主題歌、はたまた今話題のAKBの曲も演奏していただき、会場は大盛り上がりとなりました。

1時間ほどの演奏会でしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。また機会があれば、ぜひお越し頂きたいです。(尚、やすらぎ荘とひまわり荘にも5月19日にお越し頂いております。)



アンコールを含め17曲を披露していただきました。



楽しかったです。またお越し下さい。

屈束手話の会(ともしび会)慰問

～手話の歌で交流しました～

5月19日に、屈束手話の会(ともしび会)のメンバー9名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年お越し頂いており、今回は「りんごの唄」「上を向いて歩こう」「花」「ふるさと」の4曲を披露していただきました。「ふるさと」の曲ではメンバー全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら交流しました。利用者も職員も、メンバーの手話を見よう見まねで、一緒に手話をしながら歌い、とても楽しい時間を過ごしました。



「ふるさと」で手話と一緒に交流しました。



毎年ありがとうございます。

春の交通安全

～歩行の方や施設周辺の危険な場所を学ぶ～

4月24日に、地域交流スペース「なでしこ」で、春の交通安全教室が行われました。新得町交通安全協議会の加藤推進委員、村瀬指導員、北村指導員を迎え、交差点や道路の横断方法の基本的な交通安全を含め、季節が暖かくなり施設周辺に散歩に出かける利用者が増えた為、施設周辺の危険な場所について



横断歩道の渡り方を行っています。



真剣にDVDを観ています。

での講話やDVDを見て交通安全について学習しました。交通安全教室の最後にはパンフレットと反射板を頂きました。

秋には、パンフレットから問題を出しますと、加藤推進委員からお話があり、利用者の皆さんは教室の終了後から真剣にパンフレットを見ていました。

端午の集い

～新聞紙で兜を作り記念写真～

5月5日(土)食堂にて五月人形を飾り、端午の集いを行いました。全利用者の方が参加され、新聞紙を利用し、自分で兜を折られたり、職員と一緒に折ったりと楽しんでいました。完成した兜を頭にかぶり、美味しい柏餅を食べ、お茶(緑茶・昆布茶)を飲み談笑していました。



柏餅をパクリ

新聞紙の兜をかぶり
ピース



一生懸命兜作り

日帰り旅行

～みどりと花のセンターと回転寿司を食べに行こう～

5月22日(火)天候も良く、帯広の「みどりと花のセンター」へ行って来ました。季節が早く、残念ながら花はあまり見られませんでした。色々な種類の本で作っているおもちゃや牛乳パックで作った帽子が飾ってありました。皆さん手に取り「すごい」「どうやって作ったんだろう」と話されていました。植物やおもちゃの他にも、カブト虫がおり、「昔に取りに行った」と話される方もいました。昼食には芽室の羽衣亭で、回転寿司、天気も良かった為、帰りに芽室公園でアイスクリームを食べ、充実した1日になりました。



木のおもちゃに興味津々



旅行の記念にみんなで撮影



牛乳パックで作った帽子を
被りパチリ

家族との交流会

～白熱! 紅勝て、白勝て～

6月30日(土)ひまわり荘移転後初めての家族との交流会が地域交流スペース「なでしこ」で行われました。会場が広くなり、以前より広々とした中で思いつき競技をすることが出来ました。全7種目を行い、「新聞合戦!!」では、各チームの陣地にどれだけ新聞を投げ入れ、自分の陣地からいかに新聞を少なくするかを競いました。この競技が一番皆さん



いきなりの好バトル「新聞合戦」

真剣で、職員が圧倒される程でした。

その他「パン食い競争」や「玉入れ」「着替えましょう」など、毎年恒例の競技も紅白各チーム白熱した交流会となりました。



毎年恒例のパン食い競争



今年は女子高生に化けました

わかふじ寮



桂下 いつみ (生活支援員)

4月から第2わかふじ寮で働いています。学生の頃は福祉とは無関係な勉強してきた為、たくさんご迷惑をかけている状態です。これからも努力して、仕事を覚えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



船戸 清美 (看護助手)

授産施設は初めてで、特に手話は難問です。頑張ろうと思つても気持ちが付いて行けないのが現状です。でも、利用者様が優しく、いつも”ありがとう”の気持ちでいっぱいです。これからは”ありがとう”を少しずつ返していける様頑張りたいと思ひます。
趣味楽しみ：月1回の友達とのストレス解消
悩み：手話

屈足わかふじ園



花谷 奈緒 (介護職員)

4月から介護職員として勤務しております。先輩職員にたくさん指導していただき、日々が勉強です。まだまだ介護職員としても社会人としても未熟ですが、早く一人前になれるよう頑張つていきます。



福田 やよい (介護職員)

4月から屈足わかふじ園で働かせていただいている福田と申します。まだ覚えていないことが多く、利用者の皆さんや先輩職員に迷惑をかけることが多いですが、早く仕事を覚えれるよう努力していきますので、よろしくお願ひ致します。



相澤 光 (介護職員)

4月から介護職員として働かせていただいております。まだまだ分からない事が多く、利用者の方や先輩職員からご指導を頂きながら働いております。日々努力し、少しでも早く一人前になれるように頑張つていきたいです。



那賀島 茜 (介護職員)

今年の4月から介護職員として勤務させて頂いています。介護に関して初めての事ばかりで、わからないことが多くありますが、先輩方に教えて頂きながら、充実した日々を送っています。早く一人前として働くことが出来るよう、一生懸命頑張つていきますので、よろしくお願ひします。



久保田 令奈 (介護職員)

4月から屈足わかふじ園で働いています。先輩方に迷惑ばかりかけていますが、早く一人前の介護職員になれるよう精一杯頑張つて行きたいと思ひます。よろしくお願ひします。

やすらぎ荘



関口 あや乃 (支援員)

大学で手話サークルに所属していたことをきっかけに、聴覚障害のある方々との関わりを持ち続けたいと思ひ、厚生協会に就職しました。自分から学んで、気持ちを忘れず頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

新得やすらぎ荘



中林 沙也子 (介護職員)

4月から介護職員として働き始め、まだわからないことが多く、先輩方に助けて頂いてばかりの毎日です。今は迷惑をかけてしまつていますが、少しでも早く皆さんの力になれるように努力していきたいと思ひます。利用者さんの記憶に残るような介護士になれるように頑張つていくので、よろしくお願ひします。



夏井 麻樹 (介護職員)

4月から、新得やすらぎ荘の介護職員として働いています。まだわからない事ばかりですが、利用者の方のために出来る事を一つでも多く増やしていけるように、頑張つていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



佐藤 祥子 (介護職員)

4月から介護職員として新得やすらぎ荘で働いています。まだまだ分からない事ばかりですが、利用者の皆さんに快適な時間を過ごして頂けるよう、先輩職員の方々に指導いただいていることを生かして頑張つて行きたいと思ひます。一日でも早く皆さんのお役に立てるよう精一杯努力していきますので、よろしくお願ひします。



小林 翔太 (介護職員)

4月から新得やすらぎ荘の介護職員として働いています。まだ分からない事が多いので、職員の方々に一つずつ丁寧に教えていただいております。毎日仕事にやりがいがあります。一日一日「笑顔で元気にいること」という目標を頭に置きながら頑張つていきたいです。よろしくお願ひします。

居宅介護支援事業所
新得やすらぎ荘



澤田 直樹 (介護支援専門員)

4月から、新得やすらぎ荘の居宅事業所でケアマネとして勤務しています。施設を含め、厚生協会の事は、まだまだ分からない事ばかりですが、仕事のしやすい環境や仲間にも恵まれ、少しずつではありますが、法人の価値を高める仕事が出来ればと思ひています。



平野 京子 (介護支援専門員)

縁がありまして介護支援専門員として勤務させて頂いています。とても雰囲気の良い職場で毎日楽しく働くことが出来ています。居宅において自立した生活を送ることが出来るよう適切なサービスが提供できたらと思ひ努力しています。今後ともよろしくお願ひします。

宜しくお願いします☆

「チャレンジデー2012」に参加!

～1日15分運動で健康づくり～

5月30日(水)、厚生協会各施設が「チャレンジデー」に参加しました。「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントで、新得町は今年で2回目の参加です。昨年の参加に引続き、今年も各施設で利用者さんと職員一緒にラジオ体操やビデオ体操で参加しました。今年の対戦相手は、人口5,702人の沖縄県宜野座村。さて、勝敗は・・・!

わかふじ寮

ラジオ体操&ストレッチ



屈足わかふじ園

ビデオ体操



新得町の参加率は64.6% (4262人) 宜野座村は55.3%という結果で、見事勝利となりました! 目標の参加率60%も達成し、厚生協会も勝利に貢献できました。また来年も、利用者の皆さんと元気に参加したいと思います。

ひまわり荘

ラジオ体操



やすらぎ荘

ゲートボール



ペット用ソーセージ充填機が設置される

～ペットフードサホロ工場～

平成23年度障害者自立支援基盤整備事業(大規模生産整備)より補助を頂き、今回の液体製袋充填機「ONPACKオンパック」が2月に設置され、3月から試作等の製造がスタートしました。従来製造していたソーセージの充填機が、金属クリップを使用しており、クリップを使用しないオンパック導入により、安全面を考慮しました。またサイズの変更も容易となり製造量も従来の充填機の1.3倍、1分間に80本のソーセージを充填することが可能となりました。本年度内に、犬用ソーセージのわかふじブランド新製品販売を目指し、鹿肉や十勝産の野菜(かぼちゃ・ニンジン等)を使用したサンプル製造を行っています。また、他社からのサンプル製造依頼等も徐々に増え、今後の販売展開が期待されます。

ソーセージ試作品



「ONPACKオンパック」

行事のお知らせ

■わかふじ寮

- 8月 花火大会
- 9月 合同運動会
- 10月 文化祭

■屈足わかふじ園

- 8月 花火大会
きずなの郷まつり
- 9月 屈足保育園交流会
- 10月 味覚祭
- 11月 十勝イブツツツワニ競合

■やすらぎ荘

- 8月 お茶会
- 9月 合同運動会
新得神社祭
秋の味覚祭
- 10月 お料理日
施設内ゲーム大会
- 11月 帯広外出
鍋の会
長寿の会

■新得やすらぎ荘

- 8月 七夕・花火大会
納涼映画会
- 9月 合同運動会
買物外出(帯広)
- 10月 施設内ゲーム大会
- 11月 おやつの日
長寿の会

■ひまわり荘

- 8月 花火大会
盆法要
- 日帰り旅行
- 9月 秋のピクニック
ひまわり荘敬老会
秋の交通安全教室
秋彼岸法要(法話)
- 10月 避難訓練
買物外出
一泊旅行

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成24年3月から
平成24年6月まで(敬称略)

【本部】
 新得町 わかふじ寮家族会
 黒澤 剛一
 千葉 哲男
 今野 博
 花房 政弘
 中野 慶晴
 鹿追町 田仲 昭
 本別町 今野アサ子
 帯広市 中家 邦子
 高杉 英寿
 札幌市 今田 美明
 伊藤とも子
 菅野 清廣
 渡辺 律子
 砂川市 鈴木 房子
 釧路市 金子 治郎
 小樽市 金子 治郎
 苫小牧市 牧野 武司
 旭川市 橋本 弘
 静岡県伊東市 島津千鶴子

【わかふじ寮】
 新得町 川崎 勉
 サッカー少年団
 松坂 康弘
 清水町 フードバンクネット
 トワーク北海道
 帯広市 中家 邦子
 本別町 今野アサ子
 札幌市 平田敬一・福田昌代
 工藤 末吉
 佐々木芳子
 坂口 和成

岩見沢市 佐藤 陽一
 洞爺湖町 篠原 紀彦
 芽室町 後藤 幸雄
 標茶町 大山 敏宏
 千葉 勲
 小樽市 金子 治郎
 深川市 須田 有俊
 北見市 山口秀雄・美由紀
 中富良野町 水本 泰弘
 芦別市 亀山まさえ
 登別市 藤沢 英明
 むかわ町 貴俵サワ子
 苫小牧市 木村 忠信
 三上 清孝
 秋田県 横山 繁

【屈足わかふじ園】
 新得町 石塚 正治
 栗栖 利雄
 太田マツ子
 松坂 康雄
 松本 ともしびの会
 橋場 和子
 悦子
 玉川 悦子
 工藤うめ子
 音更町 宮路 禮子
 足寄町 高橋 敏

【ひまわり荘】
 新得町 千葉 哲男
 小川コユキ

新得町 機ティ・エム・ボール研究所
 北海道農場代理 瀧口孝子
 しみず中央薬局新得支店
 佐藤 隆明
 高田ゆう子
 高木 有二
 フードバンクネットワーク北
 海道(ヤンジャマグチ)
 恩田ひろみ
 森谷 良子
 安田 久枝
 鈴木 啓子
 山川 茂子
 松井 榮子
 梨本 尚里
 菅原 哲二
 村田 哲夫
 鈴木 義勝
 伊東とも子
 武田 六郎
 桑原 和子
 鈴木 義男

【やすらぎ荘】
 新得町 香川ゆかり
 手話コーラスの会
 屈足ディスコダンスの会
 松坂 昌代
 サホロ運輸
 近江 誠
 今田 義明
 谷保 義明

【新得やすらぎ荘】
 新得町 安田 繁雄
 植田 吉枝
 中村 一雄
 植田 吉枝
 手話コーラスの会
 大崎 春光
 屈足朝日の1町内会
 細田 重夫
 植田 吉枝
 清水 輝男
 不破 則久
 石本 連子
 清水 靖雄
 小川コユキ
 小松健次
 文屋 信枝
 高橋 重清
 渡辺登志雄
 渡辺隆幸・ひろみ
 旭川市 安田美津子
 江別市 井上 孝
 滝川市 和歌 保
 芽室町 高橋美恵子
 帯広市 テーナ・宮本 城後
 大村 真弓
 札幌市 須田 吉雄
 栗山町 川口 浩司
 横浜市 平下トキエ

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ
<http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ「わかふじ寮歳時記」
<http://blog.campan.info/wakafuji>

ブログ「屈足わかふじ園日記」
<http://blog.campan.info/wakafujienn/>

厚生協会E-mailアドレス
 wakafuji@netbeet.ne.jp(わかふじ寮)
 yasuragi@rainbow.ne.jp(やすらぎ荘)
 wakafuji@rose.ocn.ne.jp(屈足わかふじ園)
 himawari@bb.rainbow.ne.jp(ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

昨年度の事業報告並びに決算報告させて頂きました。

やすらぎ荘の老朽改築の計画も進み、ますます厚生協会の利用者の皆様に、快適な環境を提供できるようになります。出来上がりが楽しみです。

暑い日が続きますが、風邪などひかないよう、体調管理に気をつけましょう。

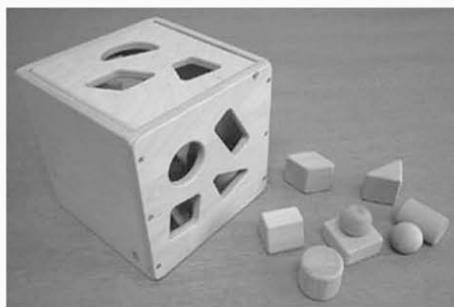
wakafuji craft

かたあわせcube

cube(箱)の角は丸く仕上げて手に優しく、ブロックは小さなお子様にも握りやすい手のひらサイズ。

材料は全て良質な道産材を使用。

10種類のブロックの形と、cubeに開いた同じ型を探して遊ぶ、「北海道生まれ」の考え楽しむ玩具です。



定価 4,500円(税込)

お問合せ わかふじ寮 0156-64-5001